

活動内容や反省点発表

ボランティア
体験事業 参加中高生13人

2016夏のボランティア体験事業（市社会福祉協議会主催）の活動報告会が27日、市総合文化センターで開かれ、参加した市内の中高生が活動の内容や学んだことなどを発表した。

中学1年～高校3年生250人が7、8月に1日から1週間ほど、高齢者・障害者施設、保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、手話サークル、要約筆記サークルなど58施設・団体で活動した。報告会にはこのうち200人が参加。代表



活動の内容や学んだことなどを発表する生徒

して13人が1～3人ずつステージに上がり、子どもがおもちゃの「子どもがおもちゃのユーザーとコミュニケーションを取り合いでけんかしたとき、なだめることし

た。続いて、受け入れ側の職員ら5人が「前日の反省を生かして動くなど、前向きに取り組んでいた」「元氣よく笑顔で利用者に接していた」などと生徒の活動を講評した。今回を機に、さまざまなボランティア活動に挑戦してみたいとの呼び掛けもあった。（岡本遥加）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

2016年9月1日 山陽新聞朝刊 34ページ

◎玉野高校生徒も参加しました。